



新潟県作業療法士会ニュース

朱 鷺
TOKI
鳥

No. 31

県士会員であり続けることの意義

新潟県作業療法士会 会長
四方 秀人

今年度の定時総会の会場におきまして、県士会功労者表彰の授賞式が執り行われ、矢川明子様が受賞されました。誠にありがとうございます。矢川様の表彰式でのご挨拶に感銘を受けましたので、会員に一言届けたいと思います。

矢川様は「子育て、介護でほとんど士会活動への協力も研修会参加もできなかった、なのに功労者表彰をいただき感謝致します」とスピーチされました。

とんでもありません。「会員で居続けてくださったこと」に感謝したいのは士会のほうです。会員の皆様はもしかしたら勘違いをされている方もおられるかもしれません。士会への貢献とは委員会を手伝ったり、研修会に参加したり、講師を担ったり、それだけが協力、参画ではありません。今の世の中、多様な家族背景があり、いろいろ事情があろうかと思います。でも、「会員で居続け、会員の総数として力になり続ける」ことこそ本当の協力だと思っています。そのことを改めて実行・実現された功労者の矢川様に心より感謝申し上げます。

「会」は皆さんで創り育て発展させていくものです。これは綺麗ごとではありません。皆同じ条件で士会員として存在しています。私も一年目の会員も同じ会費、参加費です。役員報酬はありません。委員長も支部長も理事も会長も報酬は存在しません。ただ、作業療法士の未来の為に汗をかいている仲間です。

「今」何もできなくとも構いません。

「今」自分に必要な士会事業がないかもしれません。

「今」その会費が家計に厳しいかもしれません。

でも、どうか新潟県作業療法士会として会員で居続けてください。

未来の作業療法士の為に。未来の自分の為に。

令和8年度 公益社団法人 新潟県作業療法士会 功労者表彰

令和8年6月14日に燕三条リサーチコアで開催された令和8年度定期総会の会場で功労者表彰の授賞式が執り行われました。本年度受賞された矢川明子先生から会員の皆様にメッセージを頂戴しましたのでご略歴と一緒にご紹介いたします。



会員に向けたスピーチの様子



四方会長から表彰状と記念品が贈呈されました

	矢川 明子 先生		社会医療法人立川メディカルセンター 悠遊健康村病院 リハビリテーション部
	<ご略歴>		
	平成6年3月	国立療養所 犀潟病院附属 リハビリテーション学院 卒業	
	平成6年3月	立川綜合病院 表町病院	
	平成9年7月	医療法人立川メディカルセンター 悠遊健康村病院 リハビリテーション部	
	平成13年3月	介護老人保健施設 悠遊苑	
	平成15年4月	医療法人立川メディカルセンター 悠遊健康村病院 リハビリテーション部	
<一言メッセージ>			
この度は身に余る功労者表彰をいただき、ありがとうございます。			
仕事と家庭を両立させなければならなかったために、病院・施設以外の作業療法士活動はほとんどできませんでした。			
病院・施設での働きを評価していただき功労者選ばれて、今までの努力が報われた嬉しい思いで胸が一杯になりました。			
これからも一作業療法士として、少しでも役に立てるように努力を続けていきたいと思っています。			

令和8・9年度役員紹介

今年度6月の役員選挙において新たに19名の理事と3名の監事が選出されました。紙面上ではございますが、その中から新任の理事と監事の3名より皆様へのご挨拶をさせていただきたいと思います。会員の皆様、2年間どうぞよろしくお願いいたします。

令和8・9年度の役員は
こちらからご確認ください



	氏名	佐藤 元彦
	所属	新潟リハビリテーション大学
	担当	現職者共通研修委員会
このたび、県士会の理事を拝命いたしました。これまで約25年間、宮城県で作業療法士の養成教育や臨床に携わってまいりました。故郷の新潟県へ戻ったことを機に、その経験を県士会活動や地域に還元し、新潟県の作業療法の発展に貢献したいと考えております。まだ不慣れな点もございますが、会員の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。		

	氏名	渡邊 篤
	所属	医療法人明生会 関病院
	担当	精神分野推進委員会 スキルアップ研修委員会
今年度より理事となりました渡邊です。会員の皆さまと交流しながら、ともに学び、成長していければと思います。皆さまにとって参加しやすく、交流や学びにつながる機会づくりに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。		

	氏名	風間 美子
	所属	新潟県理学療法士会
	担当	外部監事
この度、外部監事を拝命いたしました。新潟県理学療法士会では、6年間理事として務めさせていただきましたが、今回初めての監事であり、さらに作業療法士会では初めての外部監事ということで、至らない点多々あるかと存じます。前任の監事の皆様にご指導をいただきながら、職責を果たせるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。		

映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」新潟県上映会

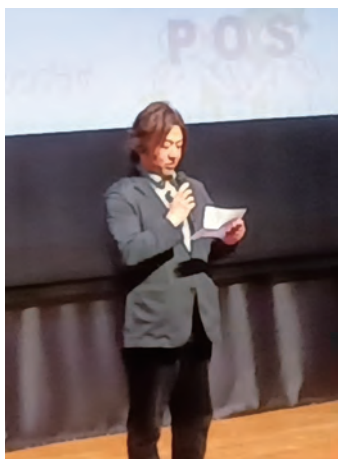
新潟県リハビリテーション専門職協議会 事務局長

新潟県作業療法士会 理事 山中 智恵

令和8年4月25日、新潟ユニゾンプラザを会場に、映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」上映会を新潟県リハビリテーション専門職協議会主催として開催いたしました。当協議会は3年毎に主幹士会を持ちまわりながら開催する合同学術大会、県からの委託事業、県民へのリハビリテーション普及推進を中心に、PT・OT・STが連携しながら活動しておりますが、上記以外では初めて協議会として取り組んだ活動でした。

本映画は耳が聞こえない両親との間に生まれた耳が聞こえる息子の実話をもとに、障害に対する差別や偏見、葛藤を乗り越えながら成長していく過程が描かれた内容です。障害の有無にかかわらず、皆が支え合える地域共生社会の実現に向けて、広く映画を届けたい一心で準備を行ってきました。当日は3回上映、計691名の方に映画を鑑賞いただき、盛況裡に終えることができました。今後も各士会での活動とともに、PT・OT・STが協働し、連携を強化してまいります。

最後に、当日までの運営に携わった多くの関係者様、ご協力いただいたPT・OT・ST会員の皆様ならびにご家族様に感謝申し上げます。



四方秀人協議会長 挨拶



PT・OT・ST運営スタッフ、新潟市議会議員様、新潟市中央区社会福祉協議会様



ST士会による簡易聴力検査体験



OT士会もブースを出展しました

片手でも手や包丁を洗うことができるグッズ

新潟県済生会三条病院 作業療法士 榎本 康 佑

今回は、包丁を洗う際や手を洗う際など何かを洗う際に片手のみでは行いにくいことに対して少し手助けしてくれるような道具を紹介します。

今回は吸盤つきブラシです。脳卒中後等病氣の後遺症により、片麻痺になり包丁を洗う際や手を洗う際など両手動作での行為が難しくなることがあると思います。そこで吸盤つきブラシは少し役に立つことがあります。ブラシに吸盤をつけることで固定されます。これにより本来両手を使って行うような行為でもブラシが滑らない為安定して行うことができます。写真は包丁を洗う際に、吸盤つきブラシをシンクにつけて使用しています。この道具を使う前はブラシが滑ってしまい片手では上手く包丁を洗うことができなかった方もこの方法で包丁を楽に綺麗に洗うことが出来ました。ブラシの間に吸盤の凸部分を差し込むだけです取り付けることは比較的簡単にできます。また、手を洗う際にはもう少し柔らかい大きめのブラシ等に吸盤をつけてあげると良いです。

<吸盤つきブラシ>



<使用時の様子>



今回は吸盤つきブラシを取り上げました。吸盤につけるものによっては様々な活用方法があると考えます。用途に応じた活用方法を検討いただけるとよいと思います。

今回紹介させていただいた福祉用具は私自身の見解が含まれています。使用者の身体機能面や環境面・経済面など様々な要素を踏まえ、担当療法士や医療相談員・ケアマネジャー等と相談する際のひとつの考えとして参考にして頂ければ幸いです。

施設紹介のページ



新潟勤労者医療協会 下越病院

五十嵐 徹・阿部 雄太

当院は新潟市秋葉区に位置しています。秋葉区は「花と緑に囲まれた、快適でにぎわいのあるまち」をコンセプトとしており、当院はその豊かな自然環境の中で、地域の皆さまとのつながりを大切にしながら、地域の基幹病院・災害拠点病院としての役割を担っています。リハビリ課には、PT 30 名、OT 25 名、ST 10 名が在籍しています。急性期から回復期、生活期まで各ステージにリハビリスタッフを配置しており、入院中から退院後の生活まで切れ目のないリハビリを提供できることが当課の大きな強みです。また、教育体制の充実にも力を入れています。新人教育はもちろんのこと、指導者に対する教育も実施し、指導を受ける側・行う側の双方が成長できる環境づくりを進めています。さらに、若手・中堅・ベテランといった各キャリア段階に応じた研修会を開催し、それぞれが将来のキャリアを描きながら専門職として成長できるよう支援しています。当課の日々の活動や取り組みについては、ぜひInstagramでもご覧ください。当院の理念である「わたしたちは地域のみなさんとともに、ゆきとどいた医療・福祉の実現をめざします」を大切にし、多職種が連携しながら、地域の皆さまへ質の高い医療・福祉を提供できるよう日々努めています。



医療法人健周会

東新潟病院・介護医療院栞の郷・介護老人保健施設陽光園

田中 枝理子

当院は昭和 54 年に開院され、新潟市中央区の姥ヶ山 IC を降りてすぐのところにあります。

現在リハビリテーション科は OT 8 名、PT 11 名、ST 5 名が在籍し、OT は東新潟病院（一般・療養 165 床）、介護医療院栞の郷（106 床）、介護老人保健施設陽光園（入所 96 名、通所 6 名 / 日、訪問 2 名）の各施設に配属されています。

東新潟病院は長年療養病院として長期入院の方がほとんどでしたが、リハビリスタッフが増えていく中で状態の改善がみられる方が増えており、リハビリが主体となって療養・退院支援委員会を立ち上げる等、退院支援にも取り組んでいます。介護医療院栞の郷では終の住処として、生活場面での評価・介入や病棟との連携を行い、少しでも入所生活が豊かになるよう関わっています。老健である陽光園では加算型から在宅強化型への移行が目前であり、在宅復帰・療養支援の充実を図るとともに、徐々に定員を広げている通所・訪問リハビリを通して切れ目のない支援を提供しています。

今後も患者様により良い医療・介護を提供できるよう各施設が目標をもって高みを目指し、また療法士個々での目標も持ちながら人間性・スキルを高め合っていきたいと思います。



※お詫びと訂正

前回、No.30 広報誌「朱鷺」の、施設紹介のページに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
誤「OT 県士会 関川愛広苑」⇒正「介護老人保健施設 関川愛広苑」

(公社) 新潟県作業療法士会

令和8年度定期総会議事録

1.開催日時：令和8年6月14日（日）10：31～11：58

2.開催場所：新潟県三条市須頃1丁目17番地

燕三条地場産業振興センター

リサーチコア研修室④

3.社員（会員）総数：961名

4.出席社員（会員）数：673名

（うち委任状出席630名）、傍聴参加2名

5.議事の経過

（1）開会の言葉：令和8年6月14日10時31分、総会議事運営委員長 佐藤修司氏から開会の言葉、議事進行は佐藤氏が行うこととした。

（2）議長選出：総会議事運営委員会推薦の介護老人保健施設三川しんあい園 四方秀人氏を選任。

（3）議長挨拶：議長 四方秀人氏より、社会情勢により人員不足や生活の困難さが増している中ではあるものの、厚生労働省にリハビリテーション統括調整室の新設や理学療法士・作業療法士法改正が予定されるなど、作業療法士に期待されることが増えている。士会としても機能強化と協力体制の構築、全人的作業療法推進の方針が伝えられた。

（4）定足数報告：出席会員数は673名（うち出席者数43名、委任状出席630名）であり、総会は定足数を満たし成立した事が告げられた。

（5）議事録署名人任命：総会議事運営委員会推薦のできじま訪問看護ステーション 山倉宏美氏及び、介護老人保健施設三川しんあい園 山中智恵氏を選任した後、報告及び議案の審議に入った。

（6）報告事項

I. 令和8年度事業計画

会長 四方秀人氏より令和8年度事業計画について報告があり、議案書に沿って説明がなされた。取り組みとして、①学術的発展：ブロック別の小学会を開催すること、日本作業療法士協会主催の学会（新潟県開催）への協力、生涯学修制度に合わせた県独自の教育システムの試行、②作業療法士の有効活用：引き続き派遣事業を進め、5歳児検診への派遣対応も継続、ブロック単位の人材バンクの体制整備を進めること、③作業療法の普及・啓発：引き続き多職種との協業を進

め、学生会員の士会活動参加を促進し、作業療法士志望の学生増加のために養成校と連携すること、④法人運営と管理：メルマガとLINE配信を継続し、登録者80%を目指すこと、イベントペイ導入により利便性を高めていくことが説明された。

続いて財務部長 吉井真里氏より当初予算案について予算書に沿って報告がなされた。

<質疑応答>

令和8年度事業計画及び当初予算案への質疑・意見については特に挙がらなかった。

II. 永年会員制度規程

永年会員制度規程について会長 四方秀人氏より説明がなされた。

III. 会費減免制度規程

会費減免制度規程について会長 四方秀人氏より説明がなされた。

IV. 旅費交通費規程

旅費交通費規程について事務局長 山倉宏美氏より新しい旅費交通費を新旧対照表と別紙に沿って説明がなされた。

<質疑応答>

永年会員制度規程、会費減免制度規程、旅費交通費規程への質疑・意見は特に挙がらなかった。

（7）決議事項

第1号議案 令和7年度事業報告及び決算報告、監査報告

会長 四方秀人氏より議案書に沿って令和7年度事業報告の説明がなされた。昨年度は①学術的発展：第3回新潟県リハビリテーション専門職学術大会が開催され効率的な運営ができた一方、学会参加者の増加や士会独自の教育システム施行には課題が残った。②有効活用：各種派遣事業の成果が実を結びはじめ、学校や司法領域において作業療法士が募集・配置されるようになり、県職員・県議会議員との意見交換を定期的に実施できた。③普及・啓発：災害リハビリ支援チームなど、多職種との協議会の定期的な開催などを通して関連団体との連携強化を図った。④法人運営と管理：新潟県作業療法士会40周年記念式典は滞りなく挙行でき、メルマガ配信を開始したことなどが報告された。

引き続き、財務部長 吉井真里氏より令和7年度決算について議案書に沿って説明され、公益法人法改正

に伴い、用語の名称及び意味の変更があったことについても説明がなされた。また、新潟県作業療法士会は公益社団法人として財務上、①収支相償を満たしたこと、②公益目的事業費比率が50%以上となること、③保有する現金預金額が公益目的事業費を超えないこと、以上3つの基準のうち2つを満たし、1つを満たさなかったこと、今後4年以内に是正する必要があることが説明された。

最後に監事 水越裕之氏より監査報告書に沿って報告があり、組織率及び参加率の上昇と教育システムの拡充について進言したことへの説明と、会員に対して積極的な士会活動参加を促された。

<質疑応答>

令和7年度事業報告及び令和7年度決算報告への質疑・意見は特に挙がらなかった。

<承認決議>

第1号議案：令和7年度事業報告・決算報告は会場出席者とWEB出席者の決議にて承認された。

第2号議案 公益社団法人 新潟県作業療法士会定款 (改定案)

事務局長 山倉宏美氏より公益法人法改正に伴う定款改定の内容と必要性について説明された。

<質疑応答>

新潟県作業療法士会定款改定への質疑・意見は特に挙がらなかった。

<承認決議>

第2号議案：公益社団法人 新潟県作業療法士会 定款 (改定案) は会場出席者とWEB出席者の決議にて承認された。

第3号議案 会費納入規程 (改定案)

事務局長 山倉宏美氏より変更点について新旧の規程を比較しながら説明がなされた。

<質疑応答>

会費納入規程改定への質疑・意見は特に挙がらなかった。

<承認決議>

第3号議案：会費納入規程 (改定案) は会場出席者とWEB出席者の決議にて承認された。

第4号議案 役員改選

選挙管理委員長 西澤麻里子氏より役員改選について説明、無投票当選となることが伝えられた。また、

公益法人法改正による外部監事の設置義務化に伴い公益社団法人 新潟県理学療法士会より風間美子氏を推薦したことが報告された。

<質疑応答>

役員改選への質疑・意見は特に挙がらなかった。

<承認決議>

第4号議案：役員改選は会場出席者とWEB出席者の決議にて承認された。

第5号議案 その他

総会議事運営委員会より参加者へ審議項目を募ったところ、事務局長 山倉宏美氏より役員報酬及び費用に関する規程 (改定案) を議題として審議の申し出があった。既に士会ホームページ上で改定案を公開していること、その内容についてスライドに沿って説明がなされた。

<承認決議>

第5号議案：役員報酬及び費用に関する規程 (改定案) は会場出席者とWEB出席者の決議にて承認された。

(8) 議長解任

すべての審議終了後、議長 四方秀人氏が議長として総会終了の挨拶を述べ、解任された。

(9) 閉会の言葉

総会議事運営委員長 佐藤修司氏が令和8年6月14日11時58分に閉会を宣言した。

SAKAimed

急性期からの＊
ハンドセラピーを
お手伝いします。

＊ スプリント ＊

酒井医療株式会社
新潟営業所
Tel: 025-278-4777
www.sakaimed.co.jp

YUKYUDO

より良い医療・福祉をコーディネートし
地域社会に貢献する

株式会社 悠久堂医科器械店

SINCE 1957. MEDICAL EQUIPMENT COMPANY

<https://www.i-yukyudo.co.jp>



各種車椅子・座位保持装置・ベッド
・コミュニケーションエイド・福祉機器
・介護用品・介護保険レンタル・住宅改修

(株) G・T・B
(オーエックス新越)

〒956-0002
新潟県新潟市秋葉区市之瀬 349-2
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
<https://www.gtb-niigata.jp/>

義肢・装具・介護レンタル

ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号

(株) 田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11
TEL 025 281-0303
FAX 025 281-0339



LUNA CAST

ルナキャスト[®]
熱可塑性ギプス包帯

硬化後も再成形できる！
手軽で便利な現場の味方

- 70℃以上のお湯で軟化し、素手で使用可能
- 硬化後の補強も簡単
- フィット性に優れている




やさしい目で健康を見つめる...
イワツキ株式会社

新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872

新潟市東区牡丹山3丁目1番11号 三森ビル301号

<TEL> 025-279-2083 <FAX> 025-384-0018

<E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

No.31 2026年7月31日発行

発行責任者：四方 秀 人

編集責任者：尾 崎 生

発 行：公益社団法人新潟県作業療法士会広報部

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1

総合リハビリテーションみどり病院

印 刷：株式会社 タ カ ヨ シ

▶ 対象の方へ

2024年度以前に
入会された方へ

2027年4月1日

「登録作業療法士」への
移行スタート！

まだの方は
2026年度内に
研修準備を完了させましょう！

■ 読み替え期限

2027年3月31日
まで

詳しいルート

https://www.canva.com/design/DAHEEvuhA_w/4hjj_FFKR_Oe_KsD3Ms1_iQ/view?utm_content=DAHEEvuhA_w&utm_campaign=designshare&utm_medium=link2&utm_source=uniquelinks&utlId=h833e892353



新潟県作業療法士会 生涯教育委員会 委員長

井嶋 宰

問い合わせ

tsukasa159031@gmail.com